

かめっ子だより No. 179

令和8年1月23日
八尾市立亀井小学校
校長 柴山 八寿夫

長い長い取組もいよいよ大詰め！ 宇宙アサガオ企画

5月の「種子を受け取るリレー式」に始まり、万博会場で行われた「宇宙アサガオサミット」への参加、校内での種植え、水やり、観察、そして種の収穫と半年以上にわたって、『NAOKO☆宇宙アサガオの種をリレーする物語』の企画に取り組んでまいりました。

その取組もいよいよ大詰め。2月2日(月)に、宙だよりスタジオの方に来ていただき、「種子をつなぐリレー式」を行い、次の学校へバトンを渡します。

現在、2月2日に向けて児童会を中心に活動しています。リレー式では、種を預けるとともに、亀井小学校のこれまでの取組みについて、報告します。14日(水)の委員会活動では、6年生は発表に向けてのスライドづくり、4・5年生は、収穫した種の数を数えました。亀井小学校で採取された種の数は、11,531粒でした。

1	熊本県八代市立八竜小学校	25,550
2	香川県小豆島町立安田小学校	17,273
3	山形県飯豊町立第一小学校	15,692
4	香川県小豆島町立星城小学校	12,500
5	大阪府八尾市立亀井小学校	11,531

歴代5位の記録となりました。来年度、どの学校で育てくれるかは、今のところ未定ですが、亀井小学校で繋いだバトンを、次の学校にも引き継いでくれることを望みます。

亀井小学校で宇宙アサガオを育てるにあたっては、たくさんの人の協力がありました。種植え、水やりで児童が頑張ったのはもちろんのこと、休日でも水が出るように自動散水機(?)なるものを作っていただいた校務員さん。長期休業中の水やりは先生方や受付員さんが。この企画を亀井小学校に持ってきていただいた宙だよりスタジオや八尾市教育委員会。記者の取材もあり、新聞にも載りました。そのかいもあって、1万を超える種が収穫できたのは嬉しい限りです。

これ余談なんんですけど、防球ネットがある花壇には、収穫しそこなった種がいっぱい落ちているはず。今も手の届かない所に実が残っています。アサガオのリレーは今年度で終了ですが、きっと来年、同じ場所からアサガオの芽が出てくるはず…。さて、来年は独自で育ててみますか？

